

沖縄公庫と民間金融機関との意見交換会（令和2年10月）における主な意見

意見・要望

- 連携対応・コロナ禍の対応ともに、沖縄公庫に対する評価は総じて前向きな評価
 - ・ 以前は民業補完がテーマとなっていたが、現在は沖縄公庫とスムーズに連携できている。
 - ・ コロナ対応としての条件変更・新規融資においては、沖縄公庫と連携して効果的に対応できた。
 - ・ 沖縄公庫には長年培ってきた創業案件に対する目利きがあり、引き続き、積極的に対応してもらいたい。
 - ・ 大規模プロジェクト関連の対応は、民間だけでは限界があるため、引き続き、沖縄公庫と連携したい。
 - ・ 今後は事業再生の対応が増加してくると予想されるため、引き続き、沖縄公庫と連携して対応したい。
 - ・ 今後の事業計画策定等の踏み込んだ対応においては、沖縄公庫の資本性劣後ローンの活用も検討しつつ取り組んでいきたい。
- 意見交換会は、年1回程度の開催頻度、民業圧迫に限らないテーマでの情報共有を希望



今後の対応

- 沖縄公庫において、民間金融機関との連絡窓口を積極的に活用し、民間金融機関と一層連携することにより、地域の事業者を強力に支援
 - ・ 協調融資の積極的な提案、協調事例の共有
 - ・ 新型コロナ対策資本性劣後ローンの活用 等
- 民間金融機関からの要望等も踏まえ、意見交換会を定期的に行う（必要に応じ随時開催）